

ELECOM

充電式イメージセンサ ワイヤレスマウス

M-D4UR シリーズ

ユーザーズマニュアル

この度は、エレコムの充電式イメージセンサ ワイヤレスマウス“M-D4UR”シリーズをお買いあげいただき誠にありがとうございます。“M-D4UR”シリーズはワイヤレスで操作できるホイール付きオプティカルマウスです。充電式乾電池により、頻繁に電池を交換することなく安定した動作を保つことができます。このマニュアルでは“M-D4UR”シリーズの操作方法と、“M-D4UR”シリーズを安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて“M-D4UR”シリーズを「本製品」と表記しています。また、このマニュアルは大切に保管しておいてください。

本製品は以下の条件で使用できます。

対応機種	IBM PC/AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズで USB ポートを標準で装備した機種
対応 OS	Windows® XP / Me / 2000 / 98

※本製品は“微弱電波機器”ですので総務大臣の無線局許可は必要ありません。電波法に準拠しています。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または当社エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体 1 個
- レシーバユニット(ケーブル長 1.5m) 1 個
- AC アダプタ(充電用、ケーブル長 1.8m) 1 個
- 単 3 形充電式ニッケル水素電池 2 本
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1 枚

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

■絵表示の意味

- ①記号は「してはいけない」ことを示します。
- ②記号は「しなければならない」ことを示します。

警告

本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いがしているなどの異常があるときは、直ちに使用を中止したうえで、レシーバユニットの USB ケーブルをパソコンからはずし、マウスから充電電池を取り出してください。AC アダプタの使用時は、AC コンセントから AC アダプタを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品を落としたり、ぶついたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちに使用を中止したうえで、レシーバユニットの USB ケーブルをパソコンからはずし、マウスから充電電池を取り出してください。AC アダプタの使用時は AC コンセントから AC アダプタを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品に水や金属片などの異物がいった場合は、直ちに使用を中止したうえで、レシーバユニットの USB ケーブルをパソコンからはずし、マウスから充電電池を取り出してください。AC アダプタの使用時は、AC コンセントから AC アダプタを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

レシーバユニットの USB ケーブルおよび AC アダプタはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

マウスの底面にあるオプティカルセンサ(赤い光)を直接見ないようにしてください。目を痛めることがあります。また、このセンサを汚したり、傷をつけたりしないでください。

通電状態では、マウス本体およびレシーバユニットの充電用端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電、傷害、故障の原因になります。

本製品には必ず付属の単 3 形充電式ニッケル水素電池をお使いください。アルカリ乾電池やマンガン乾電池などの 1 次電池は絶対に使用しないでください。1 次電池を使用すると、マウスが破損したり、電池が破裂したりする恐れがあります。また、指定のニッケル水素電池以外は使用しないでください。

注意

付属の充電電池は分解したり、他の電池といっしょに使用したりしないでください。プラスとマイナスの向きは正しく入れてください。また、本製品を 1ヶ月以上使用しないときは、マウスから充電電池を取り出し、AC アダプタを AC コンセントから取り外しておいてください。

充電には必ず付属の専用 AC アダプタをお使いください。他の AC アダプタを使用すると故障の原因になります。

本製品は次のようなところには置かないでください。

- ・日があたる自動車内、直射日光があたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
- ・多湿なところ、結露をおこすところ
- ・平坦でないところ、振動が発生するところ
- ・マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
- ・ほこりの多いところ

USB ケーブルをパソコンに接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接続してください。無理に押し込むと、コネクタやパソコンが故障したり、けがをする恐れがあります。

本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

本製品を使用する場合の注意事項

●本製品は電池の消耗を防ぐためスリープモードがあります。約 1 秒操作がありませんとスリープモードに移行します。スリープモード状態の時に右クリックすると通常モードに戻ります。

●本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。本製品は 27MHz 帯の微弱電波を使用しており、まれに外部から同じ周波数の電波を受け、誤動作することがあります。

●航空機内や病院など、電波使用を禁止されている場所ではご使用にならないでください。微弱電波が電波を使用しているため、電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。

●携帯電話は、本製品に影響を受けない距離を保ってご使用ください。携帯電話の電波の影響を受けて本製品の動作が不安定になることがあります。

●ケーブルをレシーバユニットに巻きつけた状態で使用しないでください。受信性能が低下する場合があります。

●電池の残量が少なくなった場合は、付属の AC アダプタを使って充電してください。電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。

●本製品には指定の単 3 形充電式ニッケル水素電池をお使いください。指定の電池以外のニッケル水素電池や他の種類の電池は使用しないでください。

●1ヶ月以上マウスを使用しない場合は、マウスから充電電池を取り出し、AC アダプタを AC コンセントから取り外しておいてください。再度使用するときは、必ず充電してからご使用ください。

●使用済みの単 3 形充電式ニッケル水素電池は、必ず販売店等の回収拠点に設置されている「充電式電池リサイクルボックス」に入れてください。ニッケル水素電池は法律で回収・リサイクルが義務づけられており、一般のゴミとして破棄することはできません。

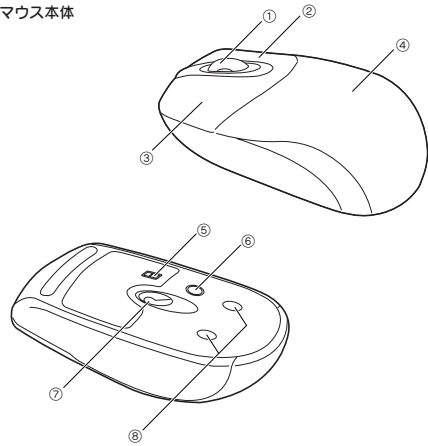
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>

お手入れのしかた

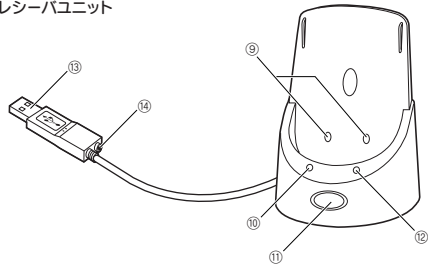
本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると変質や変色をおこすことがあります。マウス本体とレシーバユニットの充電用端子はときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。

各部の名称とはたらき

■マウス本体



■レシーバユニット



①	ホイール	指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、Windows® の操作ができます。
②	右ボタン	Windows® の操作の右クリックに使います。
③	左ボタン	Windows® の操作の左クリックに使います。
④	電池カバー	このカバーを開けて、充電電池を入れます。
⑤	カウント切替スイッチ	分解能(400 または 800 カウント/インチ)を切り替えます。
⑥	ID 設定ボタン	本製品の ID を変更するときに使います。
⑦	オプティカルセンサ	マウス本体に電源がはいると赤く光ります。マウス本体を動かしたときに、このセンサによってマウスの動きが検知されます。センサの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
⑧	充電用端子	充電用の端子です。この端子に手などで触れないでください。
⑨	充電用端子	充電用の端子です。この端子に手などで触れないでください。
⑩	動作ランプ(左側 緑色)	マウス操作時: マウスを操作するたびに緑色に点滅します。充電中: 緑色で点滅します。ID 設定中: 緑色に点灯します。※ドライバのインストール後から ID の設定が完了するまで点滅していますが、ID 設定が完了すると消灯します。
⑪	ID 設定ボタン	本製品の ID を変更するときに使います。
⑫	動作ランプ(右側 赤色)	充電中: 赤色にゆっくり点滅します。充電完了: 赤色に点灯します。異常検知: 赤色で高速点滅します。詳しくは ③ ページ「充電する」をご覧ください。
⑬	USB コネクタ	パソコンの USB ポートに接続します。
⑭	AC ジャック	本製品を充電するとき、付属の AC アダプタの AC プラグを差し込みます。充電には必ず付属の AC アダプタをお使いください。

レシーバユニットの取り付け / 取り外し

本製品をはじめとお使いになるときは、はじめにレシーバユニットをパソコンに取り付けます。以下の手順とおりパソコンの電源を入れてからレシーバユニットを取り付けてください。Windows® XP/Me および Windows® 2000 の一部の環境では、レシーバユニットを取り付けると自動的にドライバがインストールされ、すぐに使用できるようになります。

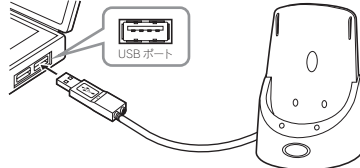
■取り付けの場合

- 注意**
- 取り付けの前に以下の点にご注意ください
- Windows® 98/2000 をご使用の場合、今までお使いのマウスは接続したままにしておきます。あとのセットアップでマウスの操作が必要になる場合があります。
 - 既存のマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを使用している場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については既存のマウスの説明書をお読みください。

① **レシーバユニットを取り付ける前にパソコンの電源を入れ、Windows® を起動します。**
Windows® XP/2000 の場合は、Administrator の権限をもつユーザーでログインします。

・Windows® が起動し、操作可能な状態になるのを確認してください。

② **レシーバユニットの USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込みます。**



・差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。
付属の AC アダプタは本製品を充電するときに使います。通常の操作では AC アダプタを接続する必要はありません。

③ **この後は OS により動作が異なります。**

● Windows® XP/Me の場合

自動的にドライバがインストールされます。レシーバユニットの左側の動作ランプが緑色に点滅しているのを確認してください。これでレシーバユニットの取り付けとドライバのインストールは完了です。
→ ② ページ「充電電池を入れる」へ進みます。

● Windows® 2000 の場合

ドライバが自動的にインストールされた場合は、これでレシーバユニットの取り付けとドライバのインストールは完了です。レシーバユニットの左側の動作ランプが緑色に点滅しているのを確認してください。
→ ② ページ「充電電池を入れる」へ進みます。
ウィザード画面が表示された場合は、ドライバを手動でインストールする必要があります。
→ ② ページ「レシーバユニットをセットアップする」へ進みます。

● Windows® 98 の場合

ウィザード画面が表示されます。
→ ② ページ「レシーバユニットをセットアップする」へ進みます。

■取り外す場合

レシーバユニットはホットプラグに対応していますので、Windows® が起動した状態でも取り外すことができます。

※ Windows® の起動中に何度も電源をくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は Windows® を再起動してください。

レシーバユニットをセットアップする

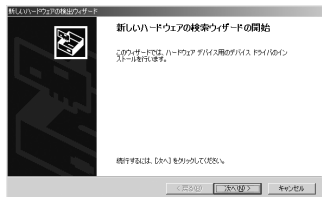
Windows® 2000 の一部の環境と Windows® 98 では、レシーバユニットの取り付け後にウィザード画面が表示されます。ウィザード画面が表示された場合は、この後の各 OS の説明をお読みになりドライバをインストールしてください。

Tips マウスやタッチパッドのないパソコンの場合

Windows® 98/2000 ではセットアップ時にマウスの操作が必要なことがあります。マウスまたはタッチパッドがないパソコンをお使いの場合は、**4** ページ「トラブルシューティング」の「Tips : キーボードでの操作」をご覧ください。キーボードを使って操作してください。

Windows® 2000 の場合

Windows® 2000 では、ご使用の環境によってレシーバユニットの取り付け後に次のようなウィザード画面が表示されることがあります。ウィザード画面が表示された場合は、メッセージにしたがってドライバをインストールしてください。レシーバユニットの取り付け後に自動的にドライバがインストールされた場合はウィザード画面は表示されませんので、この手順は不要です。

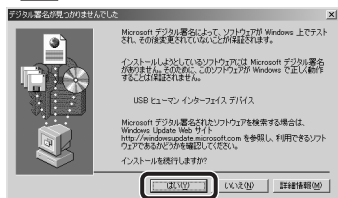


- 途中、〈ドライバファイルの特定〉画面が表示された場合は [検索場所のオプション] のチェックをすべてオフにして、次へ進んでください。



チェックボックスがオフ (□) の状態になっているか確認します。

- 途中、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されます。「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」および「HID 準拠マウス」のいずれのドライバも正常に動作するのを当社で確認しておりますので、**はい** ボタンをクリックして次へ進んでください。



- インストールが終われば、レシーバユニットの左側の動作ランプが緑色に点滅しているのを確認してください。次に、**3** ページ「充電電池を入れる」へ進みます。

Windows® 98 の場合

Windows® 98 では、レシーバユニットの取り付け後にウィザード画面が表示されますので、手動でドライバをインストールしてください。セットアップ中に「Windows® 98 オペレーティングシステム」の CD-ROM が必要になる場合がありますので、あらかじめご用意ください。

- Windows® 98 プリインストールモデルのコンピュータをご使用の場合
パソコンのご購入時に添付されている「Windows® 98 CD-ROM」または「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。このような表記の CD-ROM がない場合は、手順 **⑧** の Tips で「ファイルのコピー元」に CD-ROM ドライブを指定する代わりに「C:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。

※このフォルダを指定してもインストールが進まない場合は、Windows® 98 標準ドライバファイルの保存先についてお使いのパソコンのメーカーにお問い合わせください。

※Windows® 98 プリインストールモデルの場合は、ドライバが自動的にインストールされることもあります。

- Windows® 98 のパッケージをご購入されている場合
パッケージに入っている「Windows® 98」の CD-ROM をご用意ください。

- ①** レシーバユニットの取り付け後、〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されます。**次へ** ボタンをクリックします。



- ②** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。
- ③** **次へ** ボタンをクリックします。



- ④** すべてのチェックボックスをオフにします。
- ⑤** **次へ** ボタンをクリックします。



チェックボックスがオフ (□) の状態になっているか確認します。

・キーボードで操作している場合で「検索場所の指定」のチェックボックスがオフにできないときは、「検索場所の指定」の入力スペースを空白にしておいてください。

- ⑥** 検索するドライバファイルとして「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」が表示されていることを確認します。

- ⑦** **次へ** ボタンをクリックします。



- ⑧** Windows® 98 CD-ROM をドライブに入れるようにメッセージが表示された場合は、用意しておいた CD-ROM をドライブに入れます。**OK** ボタンをクリックします。



・Windows® 98 CD-ROM の画面が表示された場合は、画面上の **X** をクリックして画面を閉じてください。

・プリインストールモデルをご使用の場合は、このあとの「Tips」を参照してフォルダを指定してください。

Tips [OK] ボタンをクリックしたあと、〈ファイルのコピー〉画面が表示された場合

以下のいずれかの方法でファイルのコピー元を指定します。

※プリインストールモデルで Windows® の CD-ROM が添付されていない場合は、CD-ROM ドライブのドライブ名の代わりに「C:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。

※コピー先のほうが、CD-ROM のファイルより日付が新しい場合は、そのまま新しい日付のファイルを使用してください。

●ドライブ / フォルダ名を入力する方法

- ①キーボードから CD-ROM ドライブのドライブ名と「win98」を入力します。
例: CD-ROM を D ドライブに入れた場合
D:\WIN98 (小文字でも可)
- ※ドライブ名に続いて「:」と「\」を入力し、さらに「WIN98」を入力します。
- ② **OK** ボタンをクリックします。

●参照ボタンをクリックする方法

- ①〈ファイルのコピー〉画面で、**参照** ボタンをクリックします。
- ②〈ドライブ〉で CD-ROM を入れたドライブを選択し、〈フォルダ〉で「win98」フォルダを選択します。
- ③ **OK** ボタンをクリックします。
- ④〈ファイルのコピー〉画面の **OK** ボタンをクリックします。

- ⑨** ドライバのインストールが完了したら、**完了** ボタンをクリックします。



・Windows® 98 CD-ROM を取り出してください。

注意 **完了** ボタンをクリックしたあと、Windows® 98 CD-ROM を要求されたときはご使用の環境によっては **完了** ボタンをクリックしたあと、ドライバの更新中に Windows® 98 の CD-ROM を要求されることがあります。このような場合は、手順 **⑧** と手順 **⑨** の Tips を参考にしてインストール作業を続けてください。

- ⑩** これでレシーバユニットのセットアップは完了です。レシーバユニットの左側の動作ランプが緑色に点滅しているのを確認してください。次に、**3** ページ「充電電池を入れる」へ進みます。

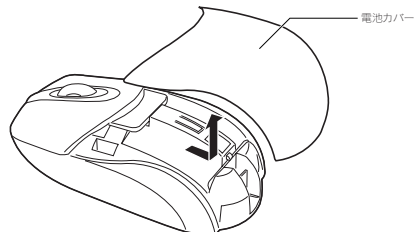
充電電池を入れる

付属の単3形充電式ニッケル水素電池(2本)をマウス本体に入れます。この充電電池は500回までの充電が保証されています。



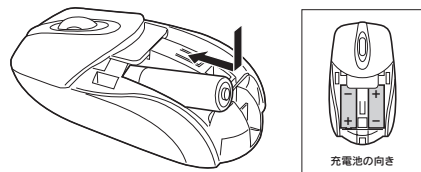
本製品には必ず付属の単3形充電式ニッケル水素電池をお使いください。アルカリ乾電池やマンガン乾電池などの1次電池は絶対に使用しないでください。1次電池を使用すると、マウスが破損したり、電池が破裂したりする恐れがあります。また、指定のニッケル水素電池以外は使用しないでください。

① 電池カバーを開けます。



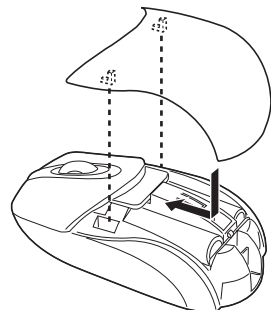
・電池カバーの上部を軽く押しながら、手前にスライドさせます。

② 付属の充電電池を2本入れます。



・プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れてください。
・専用の充電電池以外は入れないでください。
・充電電池が正しく入ると、マウスの底面にあるオプティカルセンサが赤く点灯します。

③ 電池カバーを閉めます。



・電池カバーの内側にある左右2つのツメが、マウス内部の左右の穴にそれぞれはまるように電池カバーをかぶせます。
・電池カバーを奥にスライドさせ、カチッと音がするまで閉めます。

④ マウスに充電電池を入れたら、次の「IDを設定する」へ進みます。

IDを設定する

レシーバユニットとマウス本体が同じIDになるように設定します。IDは4096通りあります。また、本製品は無線を使用しているため、同じIDの製品が狭い範囲に複数ある場合、混信を起こすことがあります。混信が起こる場合も以下の手順でIDの設定を変更してください。

注意

ID設定を変更して混信を回避しても、近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。

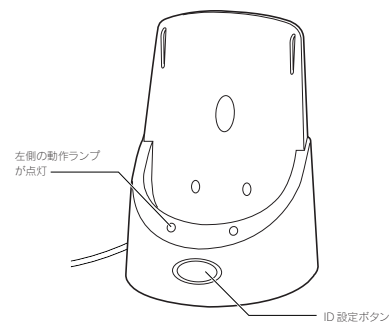
Tips ID設定を初期値に戻す

本製品のIDを初期値に戻すには、レシーバユニットのID設定ボタンを3秒以上押し続けます。

① レシーバユニットをパソコンなどのUSBポートに取り付けた状態でWindows®を起動しておきます。

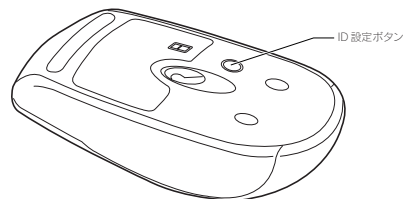
② レシーバユニットの「ID設定ボタン」を押します。

・レシーバユニットの左側の「動作ランプ」が緑色に点灯します。



③ レシーバユニットの「動作ランプ」が緑色に点灯している間(約25秒間)に、マウス本体の底面にある「ID設定ボタン」を指先などで押します。

・レシーバユニットの左側の「動作ランプ」が消えます。



④ 10秒以上たつと新しいIDが設定され、マウスが動作するようになります。これでIDの設定は完了です。次の「充電する」へ進みます。

充電する

マウス本体はレシーバユニットとの交信のため電力が必要です。付属の充電電池は動作確認用にあらかじめ充電されていますが、製品の流通過程で消耗していることがありまので、はじめて使用するときは必ず充電してください。フル充電には約5時間かかります。

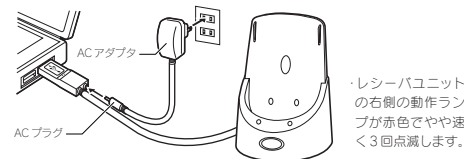
Tips 充電について

●**電力性能(フル充電面後から使用する場合)**
充電回数: 500回 連続マウス動作時間: 約29時間 連続待機時間: 約51日
想定使用可能時間: 約16日(1日8時間のパソコン操作中25%をマウス操作に割り当てた場合)

●**充電が必要なとき**
電池の残量が少なくなると、マウス底面にあるオプティカルセンサのLEDが点灯しなくなります。点灯しなくなったらマウスを充電してください。

●**長期間、マウスを使用しないとき**
1ヶ月以上マウスを使用しない場合は、マウスから充電電池を取り出し、ACアダプタをACコンセントから取り外しておいてください。再度使用するときには、必ず充電してからご使用ください。

① レシーバユニットのUSBコネクタにあるACジャックに、付属のACアダプタのACプラグをまっすぐ差し込みます。ACアダプタをACコンセントに差し込みます。



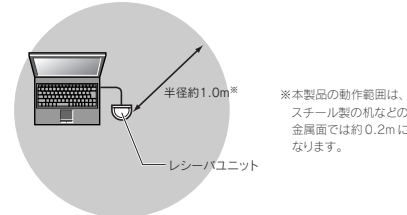
マウスを使う

■レシーバユニットの位置を調整する

●レシーバユニットはできるだけマウスに近づけてください。うまく動作しないときは、レシーバユニットの位置を変えるなどして調整してください。
●レシーバユニットとマウス本体の間には、ディスプレイモニタなど電波に干渉する機器を置かないでください。無線LANや携帯電話の電波が影響することもありますので、レシーバユニットは無線LANアダプタや携帯電話から離してください。
●ケーブルをレシーバユニットに巻きつけると受信性能が低下します。ケーブルが長すぎるときは束ねるなどして処理してください。

■本製品の動作範囲

マウス本体はレシーバユニットから半径約1.0m以内の範囲でお使いください。使用環境によっては約1.0mの範囲内でもマウスが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまでマウスをレシーバユニットに近づけてください。



※本製品の動作範囲は、スチール製の机などの金属面では約0.2mになります。

■マウスのカウント数の切り替え

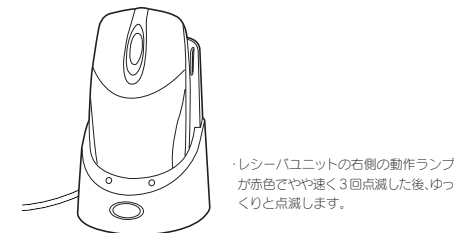
本製品にはハードウェア的にマウスポインタの動きをコントロールできるように、マウス本体の底面に800⇔400カウント/インチの「カウント切替スイッチ」があります。800カウントの場合、400カウントと比べてマウスポインタの移動距離が約2倍になります。お好みに合わせて切り替えてください。

■マウスの機能をもっと充実させるには

当社のホームページ上に、ホイールマウスの機能をさらに充実させるエレコムオリジナルユーティリティが用意されています。無償でダウンロードが可能ですのでご利用ください。

ホームページアドレス = <http://www.elecom.co.jp/support/download/>
※本製品の製品型番はマウス本体のうら面に記載されています。

② マウスの底面にある充電用端子(金属部)がレシーバユニット側の端子に触れるように、マウス本体を静かにセットします。



③ 充電がはじまると、レシーバユニットの右側の動作ランプが赤色に点滅します。

・充電が完了すると、右側の動作ランプが点灯します。

④ この後は、次の「マウスを使う」へ進みます。

・充電が完了しなくても、電池が十分に残っていればマウスを使うことができます。
・Tips 「充電について」もお読みください。
・レシーバユニットの右側の動作ランプが赤色で4回以上高速点滅を続けている場合は、異常検知しており、正常に充電されていません。マウスに入れた充電電池の向きや種類を確認してから、もう一度、手順②から操作してください。

■ホイールの動作を確認する

ドライバが正常にインストールされると、カーソルの移動や左右ボタンが使用できるようになります。ここでは、Windows®の標準機能である「メモ帳」を使ってマウスのホイールが正常に動作しているかを確認します。

① [スタート] ボタン→ [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] を選択し、[メモ帳] をクリックします。



・Windows® XPのみ「すべてのプログラム」と表示されます。

② メモ帳の画面の高さを10行程度表示できる大きさにします。文字の入力と改行をくり返します。



※画面例では0～9の数字を順番にひとつずつ入力して改行しています。

・表示できる行数を超えるとスクロールバーが現れます。

・適当な文字を入力します。
・入力する文字の行数は、10行程度表示できるようにしている場合で20行程度にします。

③ マウスのホイールを前後に回します。



・ホイールの動きに合わせて画面がスクロールすれば問題ありません。

注意

すべてのアプリケーションがホイール機能に対応しているわけではありません。一部のアプリケーションでは、ホイールを回しても動作しない場合があります。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない。
または、動きが不安定である。

→ スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなり、動作が不安定になります。マウスの動作が安定するところまで、レシーバユニットをマウスに近づけてください。

→ レシーバユニットの USB コネクタがパソコン本体などの USB ポートに正しく接続されている可能性があります。いったんコネクタをはずして、接続しなおしてください。

→ レシーバユニットとマウス本体の距離が離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位置を調整してください。

→ レシーバユニットとマウス本体の ID 設定が異なっている可能性があります。[図] ページ「ID を設定する」をお読みになり ID を設定してください。すでに ID を設定している場合は、正しく設定できない可能性がありますので、やり直してください。また、スチール製のデスクなどの金属面で ID を設定するで正しく設定できないことがあります。マウスパッドなどを敷いてから設定をやり直してください。

→ レシーバユニットとマウスの間にディスプレイモニタを配置すると、電波が干渉する場合があります。この場合、配置を見直してください。その他にも、無線 LAN アダプタや携帯電話なども電波が干渉する原因になります。

→ 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用する場合は、電波が干渉する可能性があります。[図] ページ「ID を設定する」をお読みになり本製品の ID を変更するか、ほかのワイヤレス機器の ID 設定を変更してください。

→ 電池の残量が少なくなっている可能性があります。[図] ページ「充電する」をお読みになり充電してください。

→ ドライバが正しくインストールされず、本製品が Windows® に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、この後の「「不明なデバイス」の削除方法」をお読みになり、いったんドライバを削除してください。次に [図] ページ「レシーバユニットをセットアップする」をお読みになり、セットアップをやり直してください。

→ ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

■マウスが充電されない。

または、充電中に右側の動作ランプが赤色で高速点滅を続けている。

→ レシーバユニットの右側の動作ランプが赤色で 4 回以上高速点滅を続けている場合は、正常に充電されていません。[図] ページ「充電電池を入れる」をお読みになり、マウスに入れた充電電池の向きや種類が正しいか確認してください。それから、もう一度 [図] ページ「充電する」の手順 [図] から操作してください。

その他、マウスに関する FAQ が当社のホームページに用意されていますのでご利用ください。

ホームページアドレス = <http://www.elecom.co.jp/support/faq/>

Tips キーボードでの操作

Windows® 98/2000 でのセットアップ時にキーボードで操作しなければならない場合は、次のキーを使用します。

- [TAB] : 項目やボタンを移動します。
[↑][↓] : 項目に選択肢がある場合に、選択肢の間を移動します。
[スペース] キー : キーを押すたびにチェックボックスをオン / オフします。

※ [次へ] [OK] [キャンセル] などのボタンを実行した場合は、[Enter] キーを押します。

「不明なデバイス」の削除方法

本製品のドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイスマネージャを使って「不明なデバイス」を削除してからセットアップをやり直してください。

- 注意**
- 「不明なデバイス」が複数ある場合、以下の手順をはじめる前にどの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。レシーバユニットをいったんパソコンから取り外し、レシーバユニットの表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。確認が終わったら再度本製品をパソコンに接続し、以下の手順にしたがって削除してください。
 - 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

■ Windows® XP/2000 でデバイスマネージャを表示する

① Windows® XP では、[スタート] ボタンをクリックします。

② Windows® XP ではリストにある [マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。
Windows® 2000 ではデスクトップにある [マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。

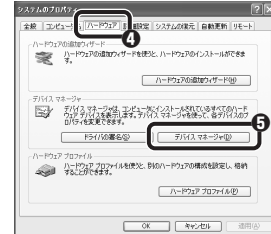
③ [プロパティ] をクリックします。



※画面例は Windows® XP の場合

④ [ハードウェア] タブを選択します。

⑤ [デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

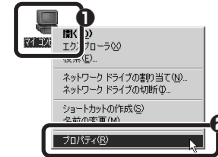


⑥ このあとは後の「「不明なデバイス」を削除する」へ進みます。

■ Windows® Me/98 でデバイスマネージャを表示する

① デスクトップにある [マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。

② [プロパティ] をクリックします。

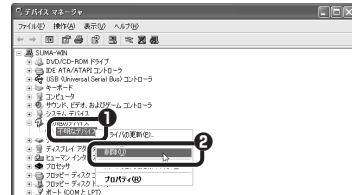


③ このあとは次の「「不明なデバイス」を削除する」へ進みます。

■ 「不明なデバイス」を削除する

① [デバイスマネージャ] 画面にある「不明なデバイス」を右クリックします。

② [削除] をクリックします。



③ OK ボタンをクリックします。



④ 本製品を接続したまま、Windows® を再起動します。
この後、[図] ページ「レシーバユニットをセットアップする」をお読みになり、ドライバのインストールをやり直してください。

ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめのうえ大切に保管してください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使いかたがわからないときは、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

●エレコム総合インフォメーションセンター
TEL. 0570-084-465
FAX. 0570-050-012

受付時間
9:00～12:00 年中無休
13:00～18:00

基本仕様

製 品 名	充電式無線マウス
製 品 型 番	M-D4UR
インターフェイス	USB
使用周波数	27.045MHz
対 応 機 種	IBM PC/AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズで USB ポートを標準で装備した機種
対 応 O S	Windows® XP/Me/2000/98
電 源	DC2.4V 単 3 形充電式ニッケル水素電池 1300mAh 2 本
電 波 到達 距離	非磁性体(木製机など):半径約 1.0m 磁性体(スチール製机など):半径約 0.2m ※当社環境でのテスト値
電 力 性 能	フル充電直後からの目安 連続マウス作動時間:約 29 時間、連続待機時間:約 51 日 想定使用可能時間:約 16 日 (1 日 8 時間のパソコン操作中 25% をマウス操作に割り当てた場合) 充電回数:約 500 回
動作温度 / 湿度	0～40℃ / 0～90%
保存温度 / 湿度	-15～60℃ / 0～90%
分 解 能	400 点または 800 カウント/インチ (切替式)
形状寸法 / 重量	マウス本体: W59.0 × D115.0 × H36.0mm / 130g レシーバユニット: W80.0 × D71.0 × H58.0mm / 80g
梱 包 内 容	マウス本体、レシーバユニット、AC アダプタ(充電用)、単 3 形充電式ニッケル水素電池 × 2 本、ユーザーズマニュアル × 1 枚

保証規定

■保証内容
取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意事項に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき無償修理いたします。

■無償保証範囲
製品が故障した場合、お客様は保証書に記載された保証期間内において、弊社に対し無償修理を依頼することができます。
ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。

- (1) 保証書をご提示いただけない場合。
- (2) 保証書に販売店印がない購入年月日の記載がない場合。
- (3) 保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合。
- (4) 弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合。
- (5) 故障した製品をお送り頂けない場合。
- (6) 弊社が動作を保証するとして指定した機器以外でご使用のために故障または破損した場合。
- (7) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
- (8) 火災・水害など天災地災および静電気などの異常な電圧などの外的要因により故障または破損した場合。
- (9) 消耗部品の自然な消耗・劣化により故障した場合。
- (10) 輸送中の振動・落下により故障した場合。
- (11) 一般家庭用以外（例えば業務用）での使用による故障または破損した場合。
- (12) その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合。

■修理
修理のご依頼時には製品をお買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターにご送付ください。

■免責事項
お客様ご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購入金額を限度といたします。
責任における保証は本製品の機能に関する保証のみに限ります。弊社店頭にもつく本製品以外の責にはおしません。
また記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

■有効範囲
本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ここに保証書シールをお貼りください。

本製品は財団法人テレコムエンジニアリングセンター (TELEC) により、電波法施行規則第 6 条第 1 項第 1 号に規定する発射電波が著しく微弱な無線局の無線設備であることを証明されたものです。

<http://www.telec.or.jp/>

本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万が一不備な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
実行した結果の影響につきましても、上記の理由がわからず責任を負いかねますので、ご了承ください。
本製品のうち、転載物または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づき輸出または役務取引許可が必要です。
Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

充電式イメージセンサ ワイヤレスマウス M-D4UR シリーズ
ユーザーズマニュアル 2004 年 11 月 26 日 第 1 版 エレコム株式会社 M3-WU-1
©2004 ELECOM Co.,LTD. All rights reserved.